

学校体育研究同志会

2019年夏の全国大会 in 和歌山

第158回

学校体育研究同志会全国研究大会

《和歌山大会》

これからの体育を

一緒に考えてみませんか

記念講演

(県民・市民におくる夕べ、3日夕方)

玉木 正之さん



大会日程

8月3日(土) 4日(日) 5日(月)

大会会場

開閉会行事・各分科会

和歌山大学教育学部附属小・中学校

記念講演(県民・市民におくる夕べ)・文化交流の夕べ

アバローム紀の国

主催 学校体育研究同志会 (<http://taiiku-doshikai.org/>)
主管 学校体育研究同志会全国研究大会 和歌山大会実行委員会
後援 和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会、国立大学法人 和歌山大学
朝日新聞和歌山総局、産経新聞社、毎日新聞和歌山支局、読売新聞和歌山支局
わかやま新報、テレビ和歌山、和歌山放送

大会テーマ

すべての子どもたちに豊かな運動文化と生きる力を

— 子ども・教師・運動文化をつなぐ体育・健康教育実践の創造 —

大会コンセプト

私たち学校体育研究同志会は、1955年に体育の研究サークルとして出発しました。技術指導の系統性に裏打ちされたグループ学習を通して、すべての子どもたちをスポーツの主人公にするべく、体育・健康教育実践の創造に取り組んでいます。

体育・健康教育は、「子ども・教師・教材」の三者のつながりによって実践されます。運動文化や健康教育の素材を教材化して、どのような内容をどのような方法で学ばせていくのか、**実践が子どもたちにとってどんな意味があるのか（あったのか）。今大会はそのようなことを考えていく大会にしていきたいと考えています。**

また、今大会は、紀南の体育教師であった佐々木賢太郎の「生活体育」によって、戦後民主体育の発信地となった和歌山での開催です。佐々木賢太郎は、子どもの事実（生活現実）に寄り添いながら、「命を守る体育」、「弱者」を絶対切り捨てない教育を展開し、子どもたちの民主的な人格形成をめざしてきました。是非、この和歌山に、仲間を誘ってお越し下さい。

つれもていこら！和歌山へ！！

大会日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
3日 (土)	(全国総会)			受付 12:00~ 13:00	開会行事 13:00~ 14:00	移動	分科会1 14:15~16:00	移動	記念講演 (県民・市民におくる夕べ) 16:30~18:30	各自で夕食			
4日 (日)	分科会2 9:00~12:30				昼食	分科会3 13:30~17:00			移動	文化交流の夕べ 18:00~21:00			
5日 (月)	分科会4 9:00~11:30		閉会行事 11:45~ 12:30										

大会会場へのアクセス



【電車・バスでご利用の方】

* JR和歌山駅西口バスターミナル・和歌山バス2番乗り場より乗車。県庁前にて下車（バス約10分＋徒歩約5分）。

* 南海和歌山市駅正面バスターミナル・和歌山バス9・10番乗り場より乗車。県庁前にて下車（バス約7分＋徒歩5分）。

【お車でお越しの方】

阪和自動車道・和歌山ICをおり、和歌山県庁、または、和歌山城の表示にしたがってお越し下さい。

【飛行機をご利用の方】

関西空港より、電車（JR・南海）、リムジンバス（JR和歌山駅行き）をご利用下さい。

※各駅からは、徒歩では時間がかかるので、バスの利用をおすすめします。

8月3日(土)

開会行事 (大会基調報告)

13:00~14:00 和歌山大学教育学部附属小学校 体育館

戦後民主体育の発信地である和歌山から、明日への一歩につながるエネルギーとなるように、これからの体育や教育、子どもたちについて、参加者のみなさん考える時間にします。

記念講演 (県民・市民におくる夕べ)

16:30~18:30 アバローム紀の国



東京2020と これからの 体育・スポーツと平和

玉木 正之さん(スポーツ文化評論家)

玉木さんよりメッセージ

東京2020をきっかけに、

体育教育を反暴力・反戦平和教育に変えてみませんか？

クーベルタン男爵は、戦争が繰り返される19世紀の日々を、何とか平和な世界に生まれ変わらせようと考え、スポーツ競技を通じての世界平和を希求しました。それは決して誤った選択ではありません。なぜなら、スポーツは、古代ギリシアと近代イギリスという世界に先駆けて民主主義社会を構築した地域にしか生まれない文化ですから。民主主義の大前提は反暴力であり、戦争を含む全暴力の否定です。スポーツこそ、反暴力、反戦平和運動の象徴であり、オリンピックはその実践である——という教育こそ体育教育に求められることではないでしょうか。

【玉木正之さん略歴】

1952年生まれ、京都市出身。東京大学在学中より雑誌、新聞などで執筆活動を展開し、日本で最初のスポーツライターを名乗る。現在は、石巻専修大学、日本福祉大学で客員教授。主な著書に『スポーツとは何か』（講談社現代新書）、『スポーツ解体新書』（朝日文庫）など。2013年7月より、新しいスポーツ・メディア「NOBORDER-SPORTS」を立ちあげ、編集長主筆に就任。毎日放送「ちんぷいぷい」のレギュラー・コメンテーターのほか、TBSテレビ「あさチャン!」「ビビット!」「ひるおび!」、テレビ朝日「ワイド・スクランブル」「スーパーJチャンネル」などに不定期出演。

8月4日(日)

文化交流の夕べ

18:00~21:00 アバローム紀の国

分科会の研究と同じくらい重要な、体育同志会の伝統行事である文化交流の夕べ（通称：大レク）。分科会の充実とともに、文化交流の夕べは研究大会を支える大きな柱の一つです。北海道から沖縄まで、全国津々浦々から今大会に集まる仲間と、楽しく・おもしろく!? 交流します。

8月3日(土)～5日(月)

分科会・基礎講座

和歌山大学教育学部附属小・中学校

大会期間中は、17の分科会と3の基礎講座で、体育・健康教育の実践づくりについて、3日間通して追求します。以下の表から、学びたいものを1つだけ選び、お申し込み下さい。なお、分科会と基礎講座との掛け持ちはできないので、申し込みの際はご注意ください。

各分科会

	分科会名	分科会紹介	実践報告 (教材・学年)	実技 (日程・場所)
1	障害児体育	支援学校・支援学級では、一人ひとりを大切にした「子どもの内面を育みからだを耕す」ことを目指しています。子どもたちが手応えと達成感の持てる「わかってできて、つながり合える」教材や授業づくりをみんな考えていきましょう。	特別支援学級 特別支援学校	分科会3 体育館
2	幼年体育	幼児期の運動あそびの内容や指導について検討しており、今回は、青森県の民舞「荒馬」の5歳児の実践から学びます。実際に「荒馬」を踊ることを通して、「荒馬」の魅力は何か、「荒馬」で子どもたちに何が育ったのか、どのような指導方法があるのか等について学び合います。	民舞「荒馬」 (5歳児)	分科会3 体育館
3	小学校 【低学年】	今、目の前の子どもたちが主体的で深い学びを形成していく授業が求められています。そのためには、①家庭・地域や学校における子どもたちの状況を出し合い、それぞれの学年の発達段階を踏まえて、発達していく可能態としてどう見ていくのか②その教材でなにを学ばせるのかを明らかにしていくための教材づくり(教材研究)・授業づくりが重要です。当日は、実技をしながら指導法とともに研究していきます。	ボール運動(2年) 鉄棒(2年)	分科会2・3 運動場・体育館
4	小学校 【中・高学年】		ラグハンド(4年) 幅跳び(5年)	
5	中学校体育	中学生にとって、みんなとともに学ぶにふさわしい保健体育の内容と方法を、具体的事実即して検討します。実践提案とは別に陸上の指導法を、実技を通して研究します。	バスケットボール(1年) 保健(2年)	分科会2 運動場
6	高校体育	青年期(15～20歳)の実態や、取り巻く状況を明らかにし、青年に「つけたい力や学力」について討論します。ソフトボールの実践報告では、高校生に学んでほしいベースボール型の授業づくりについて検討します。実技は、中学体育分科会とのコラボを検討しています。	ソフトボール 陸上競技 (中学分科会と合同)	分科会2 運動場
7	「戦術・戦略」 バスケット ボール	「何をこそ学ぶべきか」「どのように授業を組み立てるのか」などに焦点を当てて、研究を進めます。また、「勝つことを目指す」上で起こる子ども同士のトラブルにも重要な場面があります。これらに関わる実践報告を受けて分析、参加者の意見の交流などを行います。	小学校 高学年	分科会2・3 体育館
8	「戦術・戦略」 フラッグ フットボール	戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では2人对2人で基礎となる戦術的課題や技術を学びます。さらに、小学校の実践提案を「学んだ知識を使って思考・判断するゲーム」をキーワードにして検討します。	小学校 5年生	分科会2・3 運動場
9	「戦術・戦略」 サッカー	サッカーは何を教える教材か?そのフットボールの原型である「フットボールに」までさかのぼって教材化に取り組んでいます。この夏は「オフサイド」に焦点をあててみんなで学び合いたいと考えています。	サッカー フットボール	分科会2・3 運動場・体育館
10	「表現」 器械運動	子どもたちが、器械運動を「学び合い」「わかって」「上手くなる」授業について、2つの分散会を設けます。①実践提案検討分散会ではレポートを読み解きます。②実技・指導法分散会では「指導方法がわからない」という願いに答えます。	マット 跳び箱 鉄棒	分科会2・3 体育館

11	「舞踊表現」 民舞	民俗舞踊は、子どもたちのからだを耕し、心を開く豊かさを持っています。民俗舞踊に共通する「理にかなった動き」を探るワークと、背景にある文化性や民俗の願いを教材化した実践について考えます。	はねこ踊り (幼年～小学校高学年)	分科会2・3 教室 ※たび持参
12	「記録・競争」 陸上	「4歩のリズム走」からハードル走や走り幅跳びへの発展、スピードやペースをコントロールして走る「ペースランニング」について、実技と実践報告の両方から検討します。	ペース ランニング	分科会2 運動場
13	「水辺文化」 水泳	基礎泳法「ドル平」から近代泳法への指導のつながりを、実践報告をもとに検討します。また、「水辺文化」を意識した幅広い実践の可能性についても探っていきます。	ドル平から 近代泳法	分科会3 プール ※水着持参
14	健康教育の 授業づくり	いのち、環境、健康問題などに関する、子どもが動き出してくる授業をめざします。小学校高学年のスマホと健康の問題、高校での保健の授業を検討します。	小学校 高校	
15	体育理論の 授業づくり	東京都を中心に行政主導で実践されている「オリ・パラ教育」を検討すると共に、私たちの考える「オリ・パラ教育」の内容と方法を考え、実践計画を立案します。	オリンピック パラリンピック (小・中学校)	
16	子ども・スポー ツ・社会と学 校づくり	子ども・若者が主権者として自立していくために、参加と自治と共同をキーワードに、通信高校の学校づくり、中学校の部活動実践、地域スポーツや子ども食堂など多彩なテーマを議論します。	小学校 高校 地域	
17	グループ学習	グループ学習を実現するために、まだできない子の「できない」「わからない」という言葉を大切に授業づくりと学習集団の高まりの過程を明らかにしていきます。	跳び箱 (小3)	

基礎講座

基礎講座は、初めて大会参加される方、技術指導の苦手な方、これから現場に出る学生向けの、ベテランの講師陣による実技講座です。同志会が蓄積してきた系統的な指導法、すべての子どもが上手くなる指導法、子ども自らが主体的に授業を作り上げていく方法を学びます。

	分科会名	3日(土)	4日(日)		5日(月)
		講座①	講座②	講座③	講座④
A	器械運動	器械運動指導の基本的な考え方	【実技1】 マット運動	【実技2】 跳び箱運動	器械運動の授業づくり
		「ねこちゃん体操」をはじめ、逆さ感覚や腕支持感覚など器械運動には欠かせない感覚づくりから、前転、後転、側転、連続技づくりへ、その系統的な指導法を学びます。 【講師】和田範雄(和歌山支部)、山内基広(埼玉支部)			
B	水泳 ※水着持参	水泳指導の基本的な考え方	【実技1】 ドル平泳法	【実技2】 水泳分科会と合同	【実技3】 近代泳法
		同志会と言えば「水泳」。中でも、「ドル平」は、泳ぎの苦手な子どもの指導に絶大な効果を発揮します。独特の呼吸法を中心に、「誰もがわかって、できる泳ぎ方」を学びます。 【講師】大阪 EGG			
C	武道 ※柔道着 手ぬぐい持参	武道指導の基本的な考え方	【実技1】 柔道の系統的指導	【実技2】 剣道の系統的指導	【実技3】 柔道・剣道
		武道の授業づくりで困っている先生方、これから武道を教えるためにその基礎を学びたい方のための講座です。同志会が培ってきた系統的な指導法について学びます。 【講師】大和 繁(東京支部)、坂上康博(東京支部)			

子ども学校

大阪府立青少年海洋センター（大阪府岬町）

海であそぼ！

和歌山大会の子ども学校は、自然豊かな海に面した大阪府立青少年海洋センターで多彩な活動を予定しています。初日は、センター隣接の“ときめきビーチ”で海水浴、夜はバーベキューパーティー。2日目は、カッターボートや自分たちで組み立てたいかだで大海原へ大航海し、夜は感動のキャンプファイヤー。そして、最終日は、思い出づくりに工作をします。

対象 小学校1年生～中学3年生 **定員** 15名（先着）
費用 20,000円（宿泊費、交通費、食費、活動費、保険料などすべて含む）

主な活動（予定）

3日（土）	4日（日）	5日（月）
入所式 海水浴 クイズラリー BBQ	カヌー・カッター いかだづくり キャンプファイヤー	クルージング 閉会行事での発表

※雨の場合は、室内での活動を予定しています。

おくやま保育園

和歌山大学教育学部附属小学校内 保育室

対象 3歳児（年少）から **定員** 10名（先着）
費用 1コマ2,000円（おやつ代・保険料など含む）

* 預かり時間帯

時間帯	3日（土）
13:00～19:00	①

時間帯	4日（日）	5日（月）
8:30～12:30	②	④
12:30～17:30	③	

③は必要に応じて昼食を持参して下さい。

※子ども学校・保育ともにアレルギー対応などがあれば、申し込みの際、備考欄にご記入下さい。

8月5日（月）

閉会行事

11:45～12:30 和歌山大学教育学部附属小学校 オレンジルーム

【大会のまとめ】

今大会のコンセプトである『子ども・教師・教材』の三者のつながりの成果をふり返し、その先の「すべての子どもたちにとってよい教育」を参加者全員で考える時間にします。

【広島大会への引き継ぎ】

世界平和の地・広島での次大会に、和歌山のみならず全国からの熱いエールと期待を込め、同志会の旗を渡します。

大会参加申し込み

申込期間

5月13日（日）～7月21日（日）

※子ども学校・保育・宿泊予約は6月23日（日）まで

①申し込みの流れ

①申し込み前に、doushikai-wakayamashibu@hotmail.com を受信できるように設定を確認する。※参加確認メールが迷惑メール扱いになり、受信できない可能性があります。

②各種申し込みをする。申し込み後、参加確認メールが届くので、記載内容を確認する。

③1週間以内に、指定口座へ参加費用の振込をする。

※資料代の早割は、6/9までに申し込み、かつ、参加費用の振込を完了した方に適応（厳守）。6/10以降の申し込みや振込は、通常費用となります。

④参加費用の振込をもって、正式に参加受付完了。

※申し込み後、大会実行委員会からの参加確認メールが来ない場合

* doushikai-wakayamashibu@hotmail.com を受信できるように設定し、再度、参加申し込みをする。

* PCメールなど別のメールアドレスで、再度、参加申し込みをする。

②大会参加諸費用

◆資料代（提案集、保険料などを含む）

	一般	学生	早割(6/9 振込完了まで)
3日間	7,000円	4,000円	(左記の金額より) -1,000円
2日間	5,000円	3,000円	
1日間	3,000円	2,000円	
記念講演のみ	1,000円		

◆お弁当代（8/4 昼） 1,000円（お茶付き）

◆文化交流の夕べ（8/4 夜） 7,000円（飲み放題付き）

◆宿泊（アバローム紀の国）

今大会の宿泊（アバローム紀の国）は、先着順です。アバローム紀の国以外の場合は、各自で宿泊場所を予約して下さい（下記の一覧を参照）。なお、新幹線・航空券とホテルのセットで来られる場合、そちらの方が割安なときもあります。**ただし、各自で予約する際は、夏休み期間なので、早い時期の予約をおすすめします。**

* 費用 8/3（朝夕食付）：12,000円
8/4（朝食付）：8,000円（「文化交流の夕べ」は別途費用）

* 定員 3・4日ともに100名（先着）

③各種申し込み方法

大会参加、子ども学校、保育の申し込みは、以下のウェブサイトからの受付となります。

大会参加



<https://ws.formzu.net/fgen/S75015492/>

子ども学校



<https://ws.formzu.net/fgen/S15039341/>

保 育



<https://ws.formzu.net/fgen/S29635840/>

※体育同志会 HP
(<http://taiiku-doshikai.org/>)
からも申し込み可能です。

大会参加にあたって

受付場所

受付場所は、全日、和歌山大学教育学部 **附属小学校** で行います。なお、記念講演のみご参加の方は、アバローム紀の国で受付します。

提案集について

提案集は、大会当日にお渡しします。それまでは、体育同志会 HP (<http://taiiku-doshikai.org/>) 内で公開します (7月初旬公開予定)。

体調管理について

今夏も、猛烈な暑さが予想されます。特に、実技の際は、十分な水分補給をするなど、しっかりと体調管理をし、無理な運動は避けて下さい。なお、各分科会・保育などで使用する教室には、すべて冷房が完備されています。

持ち物

- *上靴やスリッパ (附属小・中学校内用) *水分 (必要に応じて各自で)
- *実技を行う分科会：動きやすい服装、運動場用・体育館用の運動に適したシューズ (雨天時も屋内で実技あり。両方持参して下さい)、分科会に応じた持ち物 (分科会紹介参照)

駐車場について

お車でお越しの際は、大会会場周辺の有料パーキングをご利用下さい。アバローム紀の国にご宿泊の方は、当ホテル駐車場・連携駐車場 (県民文化会館立体駐車場) に駐車すると割引されます (チェックイン～チェックアウトの間)。

大会についての情報



和歌山大会 LINE 公式アカウント

和歌山大会 LINE 公式アカウントの友だち追加を!

大会に関する情報は、LINE 公式アカウントから、随時、配信中です。大会前・期間中も、大会実行委員会からのお知らせを配信する予定をしています。大会にご参加される方は、左の QR コードを必ず読み取り、友だち登録をよろしく願います。

大会についての問い合わせ

問い合わせ先

和歌山大会実行委員会事務局 共同代表 原 通範

電 話：090-3165-1889

メール：doushikai-wakayamashibu@hotmail.com